

2022 年度 全学向け日本語コース/NUPACE 日本語コースシラバス

科目名	学期	曜日・時限	担当者
SJ410/NP 7 (聴解)	秋学期	月曜日・2限	宗林由佳(そうりんゆか)

【授業目標】

- ①聴き取った内容の大意を把握し、自分の意見が言える。
 ②身近な話題でなくとも、個人間、社会、学問、職業の世界で通常出会う話題について標準語で話されれば理解できる。(CEFR. B2. 2)

【授業計画】

	授業日	学習内容	その他
1	10/3	レベルチェックテスト・オリエンテーション 第1課「畳」①	
	10/10	No Class	
2	10/17	第1課「畳」② 語彙確認、問題A、問題B	
3	10/24	☆話し合い「自文化の住居の特徴」	作文①
4	10/31	第3課「暗闇イベント」①語彙確認、問題A、問題B	
5	11/7	第3課「暗闇イベント」② 第7課「フェアトレード」①語彙確認、	
6	11/14	第7課「フェアトレード」② 問題A、問題B	
7	11/21	☆討論「異なる生活スタイルの者が共に暮らすために大切なこと」 第8課「渋滞学」語彙確認	作文②
8	11/28	第8課「渋滞学」問題A、問題B	
9	12/5	中間試験（第1課、3課、7課）	
10	12/12	第10課「人はなぜ化粧をするのか」①語彙確認、問題A、問題B	
11	12/19	第10課「人はなぜ化粧をするのか」② テストフィードバック	
12	12/26	第14課「防災教育」①語彙確認、問題A、問題B	
	1/9	No Class	
13	1/16	第14課「防災教育」② ☆話し合い「国の防災教育」	作文③
14	1/23	最終試験（第8課、10課、14課）	
15	1/30	テストフィードバック、コース振り返り	

【評価方法】

提出物（作文）15%、活動（話し合い・討論等）35%、 中間試験25%、最終試験25%

【テキスト】 ※各自、必ず準備してください。

『留学生のためのアカデミック・ジャパニーズ聴解〔上級〕』（スリーエーネットワーク）

【注意事項】

- ・合格に必要な出席率は、70%（11回）以上です。
- ・この【授業計画】は受講生の数や日本語レベルなどに応じて変更する可能性があります。

2022 年度 全学向け日本語コース/NUPACE 日本語コースシラバス

科目名	学期	曜日・時限	担当者
SJ410/NP7 (読解)	秋学期	火曜2限 (10:30-12:00)	寺田 恵理 <small>てらだ へり</small>

【授業目標】

- 筆者の立場や意図、背景、対象としている読者などを考えながら、批判的に読むことができる。
- 文章の要点を自分の言葉でまとめることができる。
- クラスメイトとのディスカッションを通して、テーマについて多様な視点から考え、理解を深めることができる。

【授業計画】

	授業日	学習内容	その他
1	10/4	オリエンテーション、レベルチェックテスト Unit 2「若者の自己評価」読む前に	
2	10/11	文章の読み方 Unit 2 「若者の自己評価」読む前に、語彙確認、テキスト大意把握	
3	10/18	Unit 2「若者の自己評価」掘り下げ、要約	
4	10/25	Unit 2「若者の自己評価」要約続き、ディスカッション	
5	11/1	Unit 2「若者の自己評価」確認テスト Unit 4「ことばと文化」読む前に、語彙確認、テキスト大意把握	Unit2 確認テスト
6	11/8	Unit 4「ことばと文化」掘り下げ、要約、ディスカッション 次の記事と活動の説明	
7	11/15	Unit 4「ことばと文化」確認テスト 新聞記事①「介護とロボット」ワークシートA (語彙・表現確認、大意把握)	Unit4 確認テスト
8	11/22	新聞記事①「介護とロボット」ワークシートB (掘り下げ、ディスカッション)	
9	12/6	Unit 6「働くということ」読む前に、語彙確認、テキスト大意把握	
10	12/13	Unit 6「働くということ」掘り下げ、要約、ディスカッション	
11	12/20	Unit 6「働くということ」確認テスト Unit 9「食の共同性」読む前に、語彙確認、テキスト大意把握	Unit6 確認テスト
12	12/27	Unit 9「食の共同性」掘り下げ、要約、ディスカッション	
13	1/17	Unit 9「食の共同性」復習 新聞記事②「SNS暴力」ワークシートA (語彙・表現確認、大意把握)	
14	1/24	Unit 9「食の共同性」確認テスト 新聞記事②「SNS暴力」ワークシートB (掘り下げ、ディスカッション)	Unit9 確認テスト
15	1/31	まとめ、振り返り	

【評価方法】

授業参加度20%、確認テスト40%、課題40%

【テキスト】

『生きた素材で学ぶ 新・中級から上級への日本語』 ジャパンタイムズ ISBN978-4-7890-1462-5
新聞記事①、②はLMSにアップロードします。

【注意事項】

合格には70% (11回) 以上の出席が必要です。
状況に合わせて、授業内容が変更になる場合があります。

2022 年度 全学向け日本語コース/NUPACE 日本語コースシラバス

科目名	学期	曜日・時限	担当者
SJ410/ NP7 会話	秋学期	水曜日・2限	そうりん 宗林 ゆか 由佳

【授業目標】

この授業では、個人的、一般的な興味や関心がある話題について詳しく説明したり、細かく描写したりしながら、相手に伝える力をつけることを大目標とします。(CEFR B2 対応)

- ・相手を配慮し、適切な語彙や表現を選んで伝えることができる
- ・フォーマル/インフォーマルの違いを理解し、状況に合わせて話し方を調整することができる

【授業計画】

	授業日	学習内容	その他
1	10/5	オリエンテーション, レベルチェック, 事前アンケート	課題1
2	10/12	第1課 「自己紹介で好印象をあたえよう」・課題発表(グループ)	
3	10/19	第2課 「きっかけを語ろう」	課題2
4	10/26	第3課 「なくした体験を話そう」	課題3
5	11/2	第4課 「町の様子を話そう」	課題4
6	11/9	中間試験 ※発表 振り返り	
7	11/16	第5課・第6課「動きの順序・スポーツのおもしろさを説明しよう」	課題5
	11/23	休講	
8	11/30	※※グループ発表・第7課「言い換えて説明しよう」	課題6
9	12/7	第8課「比べて良さを伝えよう」①	課題7
10	12/14	第8課「比べて良さを伝えよう」② ※※グループ発表	
11	12/21	第9課「ストーリーを話そう」①	課題8
12	1/11	ストーリーを予測する・意見を言う ※※グループ発表	
13	1/18	第10課・第11課「最近の出来事・健康について話そう」	課題9
14	1/25	第12課「将来の夢を語ろう」	課題10
15	2/1	期末試験 ※発表 振り返り	

【評価方法】

課題30% 発表60% (グループ発表2(20%)、発表2(40%)) 活動参加度 10%

【テキスト】※各自、必ず準備してください。

『日本語上級話者への道 きちんと伝える技術と表現』スリーエーネットワーク

【注意事項】

- ・合格するためには、70% (11回) 以上の出席が必要です。
- ・この【授業計画】は受講生の数や日本語レベルなどに応じて変更する可能性があります。

2022 年度 全学向け日本語コース/NUPACE 日本語コースシラバス

科目名	学期	曜日・時限	担当者
SJ410作文/NP7作文	秋学期	木曜日・2限	西田瑞生 (NISHIDA, Mizuki) nishidam39@gmail.com

【授業目標】

このクラスは、日本語の文章表現能力を高める、とくに、読者に積極的に読んでもらえる文章を書けるようになることを目標とします。そのために、よりよい文章を書くための自然な日本語の表現とひと工夫した構造や表現のテクニックを学びます。

日本語の文章で伝えたいことがある学生、日本語の文章の書き方に迷っている学生など、日本語で文章を書こうとしている人はだれでも歓迎します。

【授業計画】

	授業日	学習内容	その他
1	10/6	イントロダクション（よい文章の条件）、レベルチェック	
2	10/13	ストーリーを編集する	
3	10/20	ストーリーを編集する	
4	10/27	ストーリーを編集する	
5	11/10	文章を豊かにしよう	
6	11/17	文章を豊かにしよう	
7	11/24	文章を豊かにしよう	
8	12/1	よりよいメールを書く	
9	12/8	よりよいメールを書く	
10	12/15	よりよいメールを書く	
11	12/22	雑誌を作成しよう	
12	1/12	雑誌を作成しよう	
13	1/19	雑誌を作成しよう	
14	1/26	雑誌を作成しよう	
15	2/2	雑誌を作成しよう	

【評価方法】

授業参加 20%、課題 80%

【テキスト】

教科書は使用しません。資料は授業でわたします。

【注意事項】

授業中にパソコンを使用することがありますので、求められたときは持参してください。参加者の興味や進度、人数などによって、予定を変更することがあります。合格するためには70%（11回）以上の出席が必要です。

2022 年度 全学向け日本語コース/NUPACE 日本語コースシラバス

科目名	学期	曜日・時限	担当者
SJ410文法/NP7文法	秋学期	金曜日 2限 10:30～12:00	関ソラ (みんそら)

【授業目標】

- ・中級から上級レベル (JLPT の N2～N1 レベル) の文法項目を身につけ、作文や会話に応用することができる。
 - ・中級から上級レベルの文法項目が含まれた長い文章が理解できる。
 - ・毎回学習した文法項目を復習し、クイズやワークシートなどに適切に答えることができる。
- (テキストは、主に各ユニットの「重要表現」と「文法・語彙練習」を学習する)

【授業計画】

	授業日	学習内容	その他
1	10/7	オリエンテーション、レベルチェックテスト	
2	10/14	ユニット 1 「～(の)ではないでしょうか」「～ことを…と言う」など	
3	10/21	ユニット 2 「～に関するN/～に関して」「～なりに/～なりのN」など	
4	10/28	ユニット 3 「～限り」「～うえ(に)」「～といったふうに」など	
5	11/4	「こと」と「もの」について	
6	11/11	ユニット 4 「～ようなものだ」「～(よ)うものなら」など	
7	11/18	ユニット 5 「～と (いうの) は…ことを言う/ことだ」など	
8	11/25	中間テスト (ユニット 1～5)	
9	12/2	ユニット 6 「つまり」「結果として」「～につれ(て)」など	
10	12/9	ユニット 7 「～がち」「～による」「XもあればYもある」など	
11	12/16	ユニット 8 「～とすれば」「～にとどまる」「～割に」など	
12	12/23	ユニット 9 「～ほど…はない」「～を通して」「～(が)ゆえに」など	
13	1/20	ユニット 10 「～をはじめとするN」「いまだ」「～にて」など	
14	1/27	期末テスト (ユニット 6～10)	
15	2/3	テストフィードバック、コースの振り返り	

【評価方法】

課題 15%、クイズ 15%、活動・授業への参加度 20%、中間テスト 25%、期末テスト 25%

【テキスト】

『生きた素材で学ぶ 新 中級から上級への日本語』 (ジャパントイムズ) ISBN978-4-7890-1462-5

【注意事項】

合格 (pass) するためには、70% (11回) 以上の出席が必要です。
シラバスは、状況によって変更することがあります。